

雨の花笠（1957）

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 B&W
時間 73分
初公開日 1957/03/20

【解説】
雑誌「読切倶楽部」に掲載された陣出達朗の同名小説を「緑眼童子 解決編」の土屋欣三が脚色し「神変美女桜」の内出好吉が監督した。中村錦之助と島倉千代子が最初で最後の共演を果たした、人情味あふれる股旅もの。
お初と新坊の姉妹を助けた峠の新太郎は、江戸にある料亭の一人息子だったが、ふとしたことから人を斬ってしまい、今はやくざとして旅をしていた。きれいな体で母に会いたいと心に誓う新太郎は、腰の長脇差を封印している。新太郎の持つ金を狙ってお糸が現れるが、彼女は新太郎の清い眼に手も出せず、逆に心惹かれてしまう。結局四人で旅を続けることになった一行は鹿沼に到着。姉妹の父親はいかさま賭博に引っかかり殺され、母親は悪貸元の鉄造に連れ去られていた。新太郎は二人の両親を助け出そうと、鉄造のもとを訪れるのだったが…。

【クレジット】
監督 内出好吉
企画 小笠原久夫
原作 陣出達朗
脚本 土屋欣三
撮影 三木滋人
美術 川島泰三
音楽 上原げんと
出演 中村錦之助 峠の新太郎
島倉千代子 お初
松島トモ子 新坊
原もとめ 夜嵐お糸
石丸勝也 ずっこけ半次
原健策 緋房源六
佐々木孝丸 鹿沼の鉄造
清川荘司 すっぽんの権蔵
凰衣子 お勘
有馬宏治 初五郎
北見礼子 お勝
松浦築枝 お模
加藤浩 やらずの七
津村礼司 乾分重太
香月涼三 乾分千吉
橘竜志郎 乾分甚八

小金井修	乾分益造
智村清	乾分吉次
矢奈木邦二郎	百姓勘右衛門
佐々木松之丞	百姓秀太
船津高也	百姓金作
浅野光男	百姓伊兵衛
岡島艶子	老婆お源
源八郎	親爺十兵衛
七条友里子	武蔵屋女中お花
太田優子	武蔵屋女中お霜
山田光子	武蔵屋女中お吉
人見寛	町人伝十
滝川浩	町人茂三
野村鬼笑	町人稲作
中村時之介	多七
こしかわ秀子	芳坊